

市立病院・診療所紹介：まごころ病院

まごころ病院は、奥州市西部の農村地帯である胆沢地域に設立された病床数 48 床の病院です。同域



内には、他に診療所がひとつあるのみです。

内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、歯科口腔外科を標榜しており、現在は、常勤 4 人の内科医、1 人の整形外科医、3 人の歯科医と、内科、外科 1 人ずつの非常勤医師をはじめとする、総勢 87 名の医療スタッフで運営しています。

近年の患者数は、外来で延べ約 43,000 人（1 日平均 180 人）、入院で約 12,000 人となっており、若干減少の傾向にあります。

なお、利用される患者の年齢は、地域の年齢構成に順じて、高齢者の割合が高いのが現状です。

病床機能は『回復期』としており、診療から入院、退院後の訪問診療を行い継続した医療を提供するとともに、常に市内の高齢者福祉施設との連携に努めながら後方支援体制をも確保しています。

病床 48 床のうち、22 床を包括ケア病床として確保しています。

『患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に。癒し癒されんことを。』これは、まごころ病院が掲げる「願い」です。病院スタッフが大切に、常に心がけて業務にあたっています。

「地域の医療はなんでも面倒をみる」そんな意気込みで、スタッフ一丸となって取り組んでいる病院です。

追記：新型コロナウイルスが鎮静化し、穏やかな日常が一日も早く訪れますように。

まごころ病院 〒023-0401 岩手県奥州市胆沢南都田大持 40

TEL0197-46-2121 FAX0197-46-2203

<https://www.city.oshu.iwate.jp/site/magokoro>

岩手県内の新型コロナウイルス感染の状況

岩手県内の月間新型コロナウイルス陽性者は、8 月 29 日現在で 2,969 人（死亡 49 人）です。

8 月の月別感染者が 5 月 530 人を上回る 967 人（29 日現在）と過去最多になり、8 月 12 日には岩手緊急事態宣言が発令されました。

県の発表によれば、県内の感染例は、感染力の強いデルタ株にほぼ置き換わったようです。

岩手県内の月別コロナ患者数（令和 3 年 8 月 29 日現在）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
感染者	3	16	4	4	167	191	111	58	67	291	530	237	323	967	2969

年代別患者数と無症状者数 R2.3~3.8.25 （単位：人）

感染者の 18%が無症状者。年代では 20 代~50 代で 64%

年代別・男女別感染者数 2年3月~3年8月分（8月29日現在）															症状無	累計比率
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計	比率	症状無	累計比率			
男性	92	145	337	250	271	199	144	97	45	14	1594	54%	270	17%		
女性	91	140	240	208	197	189	107	80	78	45	1375	46%	271	20%		
合計	183	285	577	458	468	388	251	177	123	59	2969		541	18%		
比率	6%	10%	19%	15%	16%	13%	8%	6%	4%	2%	100%					
年代別	468人16%	1,891人64%					610人21%									

大谷翔平選手の成績ボード（R3.8.30 現在）

打者 打率 264 本塁打 41 打点 89 盗塁 20
投手 勝利 8 敗戦 1 防御率 3.00 奪三振 127

トピックス

6 月に続き 7 月も月間最優秀選手に選出されました！
大谷選手の地元『奥州市の応援活動の様子』が、
MLB 公式ホームページで紹介されました！

<https://www.mlb.com/>

Ohtani's hometown pulls out all the stops

Rice paddy field art, a monthly "Ohtani day" and a hand replica?



Local boy makes good

Shohei Ohtani has fans the world over, but nowhere do they root harder than Oshu City.

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。

令和 3 年 8 月 30 日発行 奥州市医療局医師確保推進室

〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833

奥州遺産 念佛剣舞（ねんぶつけんばい）・・・ときを越え受け継がれるもの・・・

奥州市胆沢には、多くの地区で念佛剣舞保存会が活動が続けていますが、今回はその中から『広報おうしゅう』で取り上げられた「朴ノ木沢念佛剣舞」と「南下幅念佛剣舞」を紹介します。かつては盆の精霊供養として寺社の境内や民家の庭で踊られたが、その慣行は薄れ、神社の祭礼や各種の芸能発表会、結婚式などに招かれて踊られることが多くなった。

朴ノ木沢（ほうのきざわ）念佛剣舞（国指定重要無形民俗文化財）奥州市胆沢小山



愛らしい胴取りが、太鼓を打ちながら軽やかに舞う。静かな始まりから、憤怒の面を付けた踊り手が躍動していく様子は、観るものを圧倒し、心の奥底を震わせる。朴ノ木沢念佛剣舞は、源義経主従の鎮魂のための踊りで、平泉高館から胆沢都鳥を経て1796年に朴ノ木沢集落に伝わった。原形を崩さないまま、地域の中で親から子、子から孫へと守り継がれ、先祖の供養や娯楽の一つとして暮らしに溶け込んできた。現在は16人が所属し、受け継いだ九つの演目を地域の祭りや催しで披露している。庭元の三田一男さ

んは、「今はいろんな娯楽があるが、地域の人たちに親しまれ、喜ばれるものであり続けたい」と理想の姿を思い描く。



- ① 地元・伊勢堂神社の例大祭で奉納された「本剣舞」。荒れ狂う武者の亡霊たち（右）を釈迦の化身である猿「カッタカ」（左）が鎮める物語
- ② 「本剣舞」では、「胴取り」と呼ばれる二人の少女が太鼓を打つ。
- ③ おはやしは、太鼓、笛、手平鉦の三拍子に、唱歌が加わって行われる。踊り手とおはやしが一体となり、魂のこもった舞となる。

南下幅（みなみしたはば）念佛剣舞 奥州市胆沢南都田



胆沢南都田地区の東部、市道下萱刈窪鶴田線以北の南下幅地域で、南下幅念佛剣舞は受け継がれている。南下幅念佛剣舞は、寛政3年（1791）に渡辺甚四郎清時から南下幅の卯太郎に伝えられ、文化14年（1817）に卯太郎が初代庭元となった。力強く大地を踏む舞いは、六字名号（南無阿弥陀仏）を唱える念仏信仰と結合。古来は悪魔降伏、衆生救済などを祈って踊られたといわれ、昭和35年に旧胆沢村の

無形民俗文化財に指定された。一時は後継者不足で存続が危ぶまれたが、地域や男女を問わず門戸を広げ、現在は21人が活動を行う。平成28年10月16日、「南下幅念佛剣舞200年祭」として追善法要と巻物伝授式が行われ、33年ぶりに第34代の新庭元が誕生した。優しさと力強さを併せ持つ、いにしえの舞いを伝える南下幅念佛剣舞。その伝統と心意気は連綿と紡がれていく。



- ① 200年祭で地域住民らを前に11演目を披露。伝承活動への意気込みを示した。
- ② 面は阿（あ）面（口を開いている）と呼（うん）面（口を閉じている）の2種類。阿面が跳人のリーダーを務める。
- ③ 真っ赤な装束は釈迦や山王の猿などに当たるカッタカ。道下役としてコミカルな舞いで笑いを誘う。